

取組の成果・課題			
記号	ア	事業分類	心の教育の推進
七夕、クリスマス、節分など、季節の行事に触れることで、由来を知ったり楽しんだりすることができた。また、餅つき、鏡餅作り、しめ縄飾り作り等、日本の伝統文化に触れたり、そのことを教えてくださる地域の方と触れ合ったりすることを通して、心温まる体験となった。人形劇観劇は、親子で観劇することで同じ場面を同じ目線で観ることができ、親子で感動体験を共有したり、家庭で人形劇のことが話題となったりした。これらの行事や伝統文化を保育につなげ、遊びとして再現することで、楽しむことができた。伝統行事を身近に感じたり、楽しんだりすることで、子供たちの心が豊かに育っている。			
記号	イ	事業分類	保育の充実
外部から専門性の高い講師を招き、運動面の指導をしてもらった。運動の技術面において、補助等のサポートを明確に行うことで、子供たちは恐怖心をもったりすぐに諦めてしまったりすることが少なくなった。そのことによって、子供たちはできる・できないではなく、運動することを楽しみ、できないことでも意欲的に挑戦しようとする姿が見られるようになった。また、保護者にも参観してもらうことで、どのような力が育っているかを知ってもらったり、家庭でできることを教えてもらったりし、子供たちは、家庭でも保護者と一緒に頑張ろうとする姿が見られるようになった。教師も講師に補助の仕方を具体的に学び、日々の保育に取り入れることができ、保育の充実につながった。			
記号	ウ	事業分類	健康・安全教育の推進
地域の田んぼでの稲作体験や、園内での野菜栽培を通して、米や野菜などの『食』に興味関心をもつことができた。収穫した野菜を使った料理を園内で食べたり、家庭に持ち帰りその食材が食卓に並んだり、持参する弁当のおかずになったりすることで、苦手なものも食べてみようとする姿が見られ、食育につながった。また、イチゴの苗植えは、栽培用の鉢作りから保護者にも参加してもらって行った。大切に世話をし育てたり収穫を楽しみにしたりする姿が多く見られ、自分で育て収穫する嬉しさを感じる事ができた。『食べる』ことを通して、自分の健康な体についても興味をもつきっかけとなった。 安全教育として、交通教室や防災訓練を親子で実施する機会を設けた。家庭でも園での取り組みを知ってもらったり、保護者自身の意識が高まったりし、安全教育の推進につながった。			
記号	キ	事業分類	地域・家庭連携の推進
講師を招いて親子の運動遊びを行うことで、親子で触れ合う遊びの楽しさや関わり方を、保護者が知ることができた。園児の保護者は年代も若く、特に父親は子供との接し方に不安を感じ、ぎこちなさもある。そのため、このような親子の触れ合い方を教えていただくことで、家庭でも実践し、親子で触れ合うきっかけとなった。 地域の田んぼで稲作体験をさせていただくことで、自分たちが食している『米』について知ることができた。また、田植え前や稲刈り後にも子供たちが田んぼに出かけて遊ばせていただいたことで、地域の自然の中でのびのびと遊ぶ楽しさを感じ、また、関わってくださっている地域の方との触れ合いから、自分たちが大切にされていることへの実感となっている。			
記号	ク	事業分類	本の読み聞かせの推進
園児への絵本貸し出しの他に、新たに保護者への絵本貸し出し日も設定した。幼児期の読み聞かせの大切さを保護者に知らせ、読み聞かせに適する推薦絵本を紹介していくことで、保護者も気軽に借りるようになった。アンケートからも保護者への貸し出しは好評で、『園で借りた絵本のお話が大好きになり、いつでも読めるよう購入した』などという声もあり、『絵本』がより身近なものになったり、読み聞かせの大切さを感じたりしてもらう機会となった。			